

## 第7回代表委員会 議事録

於 視聴覚室  
日 時 令和7年6月26日（木）  
予定日時 12時30分 ～ 13時00分 （30分）  
実際日時 12時35分 ～ 12時57分 （22分）  
進 行 渡邊 功輔（代表委員会議長）

### 開会

日程1 報告1 提出者：第70回強歩大会小委員長 相山 誠道	
第70回強歩大会小委員会発足宣言	
説明	
話者	内容
第70回強歩大会小委員長 相山	ただいまをもって、第70回強歩大会小委員会の発足を宣言する。

日程2 議案1 通常議案	
議案提出者：	
代表委員長 岡田 岳樹、	
代表委員会事務局印刷機管理責任者 天野 颯大	
新規複合機購入に係る予算案（審議）	
説明	
話者	内容
代表委員会事務局印刷機管理責任者 天野	代表委員会室で使用している複合機に関して、今年度に入ってから以降不具合を頻発していた。また、一度メンテナンスを依頼した後も、修理依頼が必要となる故障が立て続けに2件発生した。現在も使用不可能な状態となっており、経年劣化がみられるため、新規購入を申請する。
質疑応答	
予定時間 12時37分 ～ 12時45分 （8分）	
実際時間 12時37分 ～ 12時47分 （10分）	

話者	内容
高1B 松本	<p>(一件目) 購入する予定の製品のスペックは現在使用しているものと変わらないか。</p> <p>(二件目) (近年の物価高騰を踏まえて、) 見積り等をしていない段階で、50万円という予算に問題はないのか。</p>
<small>代表委員会事務局印刷機管理責任者</small> 天野	<p>(一件目) 購入予定の製品は現在使用しているものの後継機であるため、性能はほとんど同等であると考えている。</p> <p>(二件目) (資料に) 記載されている購入費用は導入にあたる初期費用であり、その後は使用量に応じて料金がかかるという契約になる見込みである。また、初期費用が50万円以内に収まるということは契約先の営業担当者と話した際に確認をしているため、50万円以内には収まるという見込みである。</p>
高2D 加藤	<p>(一件目) (上記松本委員の二件目に関して、) プランの詳細および一年にかかる予算はいかなるものか。</p> <p>(二件目) 修理するより購入のほうが安いという見積りなのか。</p> <p>(三件目) 故障の原因は特定したのか。</p>
<small>代表委員会事務局印刷機管理責任者</small> 天野	<p>(一件目) 初期費用で購入した後、継続的に(通常予算の印刷関連費から)料金を支払って使用するという(現在の複合機と同様の)契約を継続する方針である。</p> <p>(二件目) 現在の契約では修理を依頼しても追加で料金が発生することはない。(修理依頼の直後に再度故障が発生したことから、経年劣化による故障が頻発していると考えた。対応年数が経過していることも鑑みて、) 修理して使い続けるよりも買い換えた方が今後の業務において支障なく使用できると判断した次第である。</p> <p>(三件目) 故障箇所は複合機内部のどこかではあるが、エラーコードを見ても詳細がよくわかっていないため、武蔵生内部での処理はほとんど不可能と考えている。</p>
加藤	<p>(一件目) そのプランに一年でどれくらいのお金がかかっているということはわかるか。</p> <p>(二件目) 企業側の問題として出した修理の直後に故障が起きることは問題であると考えるが、これについて確認は取れているのか。</p> <p>(三件目) 工学に詳しい人によって学内で原因を特定した方が、企業にお金をどんどん取られる状況を回避できると考えるが、その点いかがか。</p>

代表委員会事務局印刷機管理責任者	天野	<p>(一件目) 印刷関連費は、年間の通常予算として、毎年70万円を確保しており、今後もこれは変わらないと認識している。</p> <p>(二件目) 故障箇所の詳細が不明のため断言はできないが、おそらく、前回と今回の故障箇所は別と考えられる。また、今年度に入って以降、修理依頼ほどではないものの業務に多少の支障が出るような不具合が頻発している。このような支障を防ぎ、業務を円滑に行うために、購入を申請した次第である。</p> <p>(三件目) 我々は工学に強い方への面識が特にないため、修理依頼か購入をするという判断をした次第である。</p>
採決と結果		
通常採決 (挙手採決)		
賛成多数 → 可決		

日程 3 議案 2 通常議案 ※第 6 回代表委員会より持ち越し		
議案提出者：		
第 103 回記念祭小委員長 橋本 弘之介、		
第 103 回記念祭小委員会会計パート長 半田 玖門		
第 103 回記念祭決算案（審議）		
説明		
話者	内容	
第 103 回記念祭小委員長 橋本	提出理由は議案に書いてある通りである。	
質疑応答		
予定時間 12 時 48 分 ～ 12 時 55 分 （7 分）		
実際時間 12 時 48 分 ～ 12 時 55 分 （7 分）		
話者	内容	
高 2 D 加藤	予算提出時、予算の各項目の詳細を後に公開するというような話があったと認識しているが、これは行われたのか。	
第 103 回記念祭小委員長 橋本	会計パート長からは資料が出ていたが、私の事務処理能力不足によって行うことができなかった。申し訳ない。	
加藤	各予算項目の詳細は挙げられるべきであるが、これを公開するというような考えはないのか。	
橋本	（会計ノートを提示して、） 使用した金額の内訳はすべて会計ノートにまとめられている。会計監査の市川君の方でも通っているため、中身に不備はないはずであるため、必要に応じてそちらの方から確認さ	

		りたい。
高1B	松本	準備金会計のうち、縁日のみ赤字となっていることに関して、このようになった理由はあるか。また、今後の事業継続性に問題はないのか。
第103回記念祭小委員長	橋本	準備金会計においては、必ずしも黒字を出す必要はないと同時に、赤字を出しすぎてもいけず、全員でいい具合になれば問題ないという認識である。そのため、今回の縁日は若干の赤字にはなっているが、一種の経験として良いものであると考えており、これがこの議案をこのまま提出した次第である。
(橋本により同小委員会縁日パート長岡田の参考人招致が求められ、議長が許可し、岡田が応じる)		
第103回記念祭小委員会縁日パート長	岡田	今回は様々な事情により少し足が出たという形になる。縁日の運営方法や必要性については、次回以降の記念祭小委員会で今一度議論されることと認識している。。
高2D	加藤	もし予算の段階で作った資料が残っているのであれば、今後記念祭を続けていくにあたって、そのような生データをわかりやすい形で用意するということも重要であると考えてるが、その点いかがか。
第103回記念祭小委員長	橋本	しっかり作ってもらっている状態であるため、受験勉強とのバランスを考えて、キャパシティを保ちながら行っていく所存である。もし出ていないようであれば、定期的にどんどん催促されたい。
	加藤	私としては、この決算を可決するからには、ぜひともここでその実施を確約していただきたいと考えるが、その点いかがか。
	橋本	確約する。期末試験の後でも構わないか。
	加藤	もちろん大丈夫である。
	橋本	ここにいる皆さんが証人ということで、ぜひお願いする。
採決と結果		
通常採決（挙手採決）		
賛成多数 →可決		

日程4 報告2 提出者：第103回記念祭小委員長 橋本 弘之介		
第103回記念祭小委員会解散宣言		
説明		
話者	内容	
第103回記念祭小委員長 橋本	第103回記念祭小委員会の解散を宣言する。（その他内容に	

	関しては「文字起こし」参照)
--	----------------

散会

## 文字起こし

渡邊

はい、それでは、定足数に達したとのことなので、これより、第7回代表委員会を開催いたします。よろしいですか。はい、それでは始めます。まずは日程第1、第70回、強歩大会小委員会の発足にあたって、第70回、強歩大会小委員長相山君をお願いします。

相山

ただいまをもちまして、第70回強歩大会小委員会の発足を宣言させていただきます。どうぞよろしくをお願いします。

渡邊

はい、ただいま小委員長より発足宣言がございましたので、はい、それでは次に移ります。続きまして、日程第2、議案1、新規複合機購入にかかる予算案の提出について、岡田代表委員長と天野印刷機管理責任者をお願いします。

天野

はい、印刷機管理の天野です。代表委員会室で使用しています、A3の複合機が、今年度に入ってから不具合を頻発し、また先日メンテナンスを、依頼した直後に、立て続けに2件、修理依頼が必要となる故障が発生しました。現在も、複合機は使用不可能な状態となっており、経年劣化に、経年による劣化が、見られるため、複合機の、新規購入を、申請します。

渡邊

それでは、質疑応答に移ります。本議案に関しまして、質疑応答の時間を12時45分までといたします。それでは、質疑のある方は挙手をお願いします。それでは、どうぞ。

松本

はい、高1B組松本岳大です。二点ほど質問でございます。まず、一件目として、複合機、の型番も書いてありますが、こちら、こちらの製品は、現状と、変わらないスペックということで、間違いないでしょうか。二件目として、七年前か、六年前に、42万円で購入したとありますが、近年の物価高騰を踏まえまして、42万のものが、果たして今は50万で買えるのかちょっと、怪しいんじゃないかなと思うんですが、見積り等とってない段階で、この50万という予算で問題ないのでしょうか。

天野

はい、お答えいたします。まず、一件目、性能についてですが、購入予定の複合機は現在使用しているものの後継機となりますので、性能に関しては、今とほとんど同等と、考えております。続いて、二件目ですが、ここに記載されている、購入費用というのは、導入にあたる初期費用でして、その後も、継続して、料金が使用量に応じてかかるという契約になる見込みです。そのため、初期費用について、初期費用が50万円以内というのは、先日、契約、先の、営業の方と話した際にも、確認しております。そのため、50万円には収まると、いう見込みであります。

松本

ありがとうございます。

渡邊

それでは、奥の方。

加藤

高2D組代表委員の加藤です。三点ほど質問があります。まず、先ほど、松本委員の質問に対して、けい、これが初期費用であって、継続的にお金がかかるというような話があったと思うのですが、具体的にどういうプランで、大体一年でどれぐらいの予算がかかるのかというのを、教えていただければと思います。で二件目についてなんですが、修理を依頼する必要が出てきた、出てきて、だったらこの機会に変えよう、みたいな説明があったと思うんですが、修理、するよりはこっちの方が安いというも見積りなんですか。というのと、あと三つ目の点として、具体的にどこが故障したとか、そういう感じのことを、別にあの、企業側でもいいですし、あるいは、武蔵生内である程度、工学的な話に強い人ってというのは、何ぞ、1000人くらいいれば、この程度の機械だったら直せる人が一人ぐらいはいるとは思うんで、そういう人に、とにかくですね、故障の原因というのは特定したんでしょうか。

天野

はい、お答えいたします。まず、今後の契約のプランについてということですが、現在も、42万円の初期費用で購入した複合機を、継続的に、料金を払って使用しているという契約になっております。その費用は、通常予算の印刷関連費からまかなわれておりますので、今後もその、それを継続するという方針です。続いて、故障の箇所ですか？、修理依頼については、現在の契約ですと、修理を依頼しても追加で料金が発生することはないという契約になっております。しかしながら、先日修理を依頼した直後に、すぐ、再度故障が発生したということで、経年劣化による、故障が頻発していると、考えまして、今後も修理して使い続けるよりも、この際に、経年、対応年数が経過している今、買い換えてしまった方が、今後の、業務においても支障なく使用できると、いう判断、と判断したため、今回購入を申請する運びとなりました。最後に、故障した箇所についてですが、複合機内部のどこかで、あまり詳細は、わかっておりません。エラーコード見ても詳細はよくわかりません。そのため、武蔵生内部で処理するというのは、ほぼ不可能と考えております。以上です。

加藤

高校2年、高校2年D組、組代表委員の加藤です。ありがとうございます。それぞれに、もう一回質問したいんですが、まず一件目の、そのプランについてなんですが、具体的に一年でどれぐらいのお金がかかっているのか、ということとは、わかるでしょうか。で二件目についてなんですが、修理にだ、修理に出して、その直後に壊れてしまったから、修理に出してもあんまり意味ないんじゃないかなっていう、ような話だったと思うんですけど、もちろん、もちろんというか、そもそも修理を出したのにそれがすぐ壊れちゃうって結構な問題じゃないですかね。つまり、別に事務局の問題とかそういう話じゃなくて、向こう側の企業側の問題として修理出したのに、出して直したのに、すぐ壊れちゃいましたって結構問題だと思うんでその点についてはどうなのかなというふうに、思ったので、具体的にそれが確認とれているのかというような話と。あと、三件目についてなんですが、なんで僕が、その武蔵生、内でどうこうしたらどうか、みたいな、ことを言ったかというところでね、向こう側の企業としてはたくさん稼げる方法をできるだけ模索したいというのは、当然ある、考え方というふうに思うん

ですね。つまり、内部の結構マニアックなところで、ここ、を直せば、使えな、たぶん使えるんだろうけれども、それを言わないで別に、ちょっと経年劣化なんで、変えてくださいっていうふうに言えば、ジャンジャンお金払ってくれるところがあるみたいな状況ですと、どうしてもそういうことが起きちゃうんで、武蔵生という身内内で、正直、その1000人の中で、ある程度工学に強い人が、いるかどうかかわかりませんが、けれども、もしいるのであれば、そういう人に依頼するとかあるいは、教師側にもある程度工学に強い人は、僕は何人か知っていますけど、そういう人に、相談してみるなりして、それで、原因を特定した方が、お金をジャンジャン取られるっていうような状況は回避できるのかなというふうに思ったので、その点いかがでしょう。

天野

はい、お答えいたします。まず、一件目ですが、先ほどもご説明した通り、用紙代などと合わせまして、年間の通常予算として印刷関連費70万円を、確保しております。これは毎年同じです。で、今後も、ランニングコストについては変わらないというふうに認識しております。二件目、修理のことについてですが、おそらく、前回修理依頼した箇所と今回、故障した箇所というのは、別と考えられます。しかしながら先ほど申し上げた通り、故障箇所が、詳細が不明のため、断言はできません。が、おそらく別の箇所と考えられますので、考えられまして、また、先ほど申し上げた通り、修理を依頼するほどではないが、業務には多少の支障が出るというような、不具合が、今年度入って以降頻発しております。これでは円滑な行事や委員会業務ができないということで、今回、複合機の購入を申請いたしました。それから、三件目です。工学について、工学に強い方、是非、ご紹介いただければ、代表委員会に見ていただきたいと考えているんですけども、我々どもはそういった面識が特にございませんので、現状は、修理を依頼するか、今回こういう、諦めて購入するという判断をしたまででございます。

加藤

別の箇所、だったら、修理もつかい出した方がいいんじゃないや。

岡田

別の箇所と言っても、つまり、修理に何回も何回も出せばそれはその箇所は直ってくるけど、じゃあその、別の箇所が何回も故障するってことは、他の箇所が、どんどん故障していくっていう可能性もかなりあるわけで、そもそも、この印刷機は、けい、経年というか、対応年数を超過しているものなので、それを使い続けても、いくら修理してもどんどん新しい不具合が生まれてくるという状況が続いてしまうのであれば、それはもうもはや使用が不能になっていると考えざるを得ないので、そこはやっぱり、早めに、業務を円滑に進めるために、今、事実今複合機使えていないので、業務を円滑に進めるために、なるべく早めに、購入をしたいということでございます。

加藤

無料なら修理に出した方がいいんじゃないですか。

渡邊

はい、質疑の時間過ぎておりま、過ぎておりますので、このあたりで採決に移ります。本議案通常議案でございますので、票決者の過半数の賛成を以てさん、可決となります。それでは、さん、棄権の方は挙手をお願いします。続いて、賛成の方。賛成多数と認めますので、本議案は可決されました。続きまして、日程第2、第3議案2、前回より持ち越しとなりました、第103回記念祭の、決算案の審議でございます。資料については、紙の方では、前回お配りしたものと、そのままになっております。紛失をされた方は、Google Driveの方から、ご覧いただけます。

松本

はい、お手元にある、であろう、資料をご覧ください。103回記念祭小委員長の橋本と、会計パート長の平田です。はい、申請じゃないや提出した理由は、資料議案かな？、の方に書いてある通りなのでよろしくをお願いします。

渡邊

はい、それでは質疑応答に移ります。本議案に関しまして、質疑応答の時間を12時55分までといたします。それでは、質疑のある方は挙手をお願いします。はい、それではどうぞ。

加藤

はい、高2D組代表委員の加藤です。確か予算を提出されたときに、予算の各項目の詳細を、あとで公開する、みたいな話があったと思うんですけど、それって具体的に行われたんでしたっけ。

橋本

はいお答えします。それは、私の、事務処理能力不足によって行うことができませんでした。そこは本当に申し訳ないと思っています。ほんとに、言い訳にしかないんですけど、やるつもりはあって会計パート長から資料は完全に出たんです。僕のキャパオーバーでちょっと出せなかったのを、申し訳なかったです。はい。

渡邊

はい、それではどうぞ。

加藤

はい、ありがとうございます、高2D組代表委員の、高2D組代表委員の加藤です。ありがとうございます。そのうえで質問なんですが、決算が出たということで、別にその予算のときに、用意した資料でも結構ですし、あるいは決算の、に向けて準備した資料でも結構ですので、各予算項目の詳細を挙げられるっていうのは、一般的な、なんていうんでしょう、例えば企業であつたりとか、そういった、一般的な、なんていうんだろうな、社会とか社会、で考えたら、その予算で、一体どういものが買われたっていうのを、詳細に、内部に、共有しておくっていうのは、結構当然なことなのかなという風に思うので、それを公開するっていうような、考えはないんでしょうか。

橋本

はい、そういう意見があると思ったので、持ってきました。会計ノートになります。そちらの資料に載っている、使用した金額の内訳は全て団体責任者パート長などから提出された領収書などをもとに会計ノートにまとめられています。これが、会計監査の市川君の方でも監査して、通ってますので、中身に不備は、無い、はず、です。はい。なので必要があればそちらの方からご確認ください。

## 武蔵高等学校中学校 令和7年度代表委員会

渡邊

はい、それでは次、そちらの方。

加藤

高2D組代表委員の加藤です。私としては、この決算を、可決するからには、ぜひともここで確約していただきたいんですが、いかがでしょうか。

橋本

はい、やります。

加藤

わかりましたありがとうございます。

橋本

でもちょっとお願いだけしたいんですけど、期末終わった後でも大丈夫ですか。

加藤

もちろん大丈夫です。

橋本

ここにいる皆さんが証人ということで、ぜひお願いします。

渡邊

はい、それでは、時間となりましたので、採決に移ります。本議案は通常の決算案でございますので、こちらは通常議案として採決を行います。それでは、まず、棄権の方。続いて賛成の方。はい、賛成多数と認めますので、本議案は可決されました。

橋本

はい、では、続き、解散宣言ということになるんですけど私、事務局、長々と老害のような形で、五年ぐらいやっているんです。長すぎるよって話だと思います。で、この、最後、記念祭の決算を無視通過したってということで、この議案の、理由、強歩大会小委員会より早く解散させるっていう理由を達成できたってということで、若干心は嬉しくも思っています。今回史上最高のっていうことでなぜか、発足も、予算も決算も全部早くなりました。っていうのは、誇れることかなと思います。ただ、その一方で、皆さんに、いろいろご迷惑をおかけしたり、っていう面はあったので、そこは申し訳なかった。そこは、来年度中尾君を初めとする第104回記念祭が、なんとか、いろいろ、頑張ってくれる、と思うのでそこは、彼らに託したいなと思います。僕の、好きな言葉に一つ、拾ってきた言葉なんですけど、過去の自分が恥ずかしいっていうのは、今の自分が成長しているからだって言葉があるんですよ。一年前思い返してみると自分は恥ずかしいんです。それは結果的に見てみれば、今の自分が成長しているから、なんじゃないかなということ、皆さんもこれから、今の自分が恥ずかしい、って思えるような存在になってほしいなって思います。じゃあ、103回記念祭小委員会、解散します。

渡邊

はい、以上を待ちまして、本日、第7回代表委員会の、すべての日程が終了いたしました。そして、一学期の代表委員会も、おそらく、本日が、最後でございますので、一学期の間、ありがとうございます。二学期はまた、どうぞ、よろしくお願いします。それでは、忘れ物をしないように、教室にお戻りください。お疲れさまでした。

渡邊

はい、それでは次、そちらの方。

橋本

はい高1B組松本岳大です。各、各項目は、特に、微妙に、振れ幅があるだけって感じだと、思うんですが、一番気になったのが、準備金会計が、大体、今、どこも堅調に黒字となってる中で、緑日だけ赤字となっていますが、これだけの、80万使っというて、微々たるものですが赤字になってるというのは、緑日を継続的にやっていくうえではあんま好ましくないのではないかなと思うんですが、具体的に、緑日が赤字になってしまった理由が、あれば教えていただきたいのと、あとは、今後の事業継続性に問題はないのか、というところを、ご質問したいです。

橋本

はい、緑日パート長上がつてきましたけどその前にお答えしとくと、準備金でやる模擬店商務緑日バザー、その他諸々系に関しては必ずしも黒字を絶対に必要なわけではないってわけではなくて、だからといって赤字をめちゃくちゃ出していい、というわけでももちろんありません。いい感じにほどほどに、いろんな、全員で協力して、辻褄があうくらいになればいいじゃないかなっていうことでやっています。なので今回バザーじゃない失礼しました、緑日若干、赤字みたいにな、感じにはなってますけど、これも、一種の経験として、いいんじゃないかなと、僕は思っ、このまま出してます。

渡邊

はい、じゃあ参考人で、緑日パート長、

岡田

はい、ちょっと、補足でお答えしますと、緑日については、そうですね、今回、様々な、事情がありまして、少し、足が出てしまったという形にはなるんですけども、こちらに関しては、従来の運営方法あるいは、今回の運営方法を、等を検討して、緑日、についても本当に必要かどうか、今一度、次の、記念祭小委員会、で、議論がされることと、認識をしておりますから、そこについては、来年度以降も、緑日パート長、が、いるとしたら、彼らに、託されるようなのかなという風に考えております。

渡邊

はい、他に、ある方。じゃあそれでは。奥の方。

加藤

高2D組代表委員の加藤です。このような形で提示していただけるのは、大変、興味深いなという風には思うんですが。もちろん、この、これ以降も、み、いきた、見たいという人がいれば、いつでも見れるみたいな状況を作りたいという意味で、そのまま生データを提示するということは大事だという風には思うんですが、一方で、ある程度の大枠、というか、わかりやすい形で用意するっていうことも、ある程度、今後記念祭を続けていくにあたって重要なことだという風に思いますので、もし、予算の段階で作った資料っていうようなのこ、残っているものであったらそれを、なんていうんでしょう、生徒自治ポータルサイトなり、そういったところで、公開してわかりやすい形で提示するっていうのも、重要なことだと思うんですが、いかがでしょうか。

橋本

そうですね。しっかり作ってもうもらってる状態なのであとは僕のキャバが越えない限りいけるっていうことなので、受験勉強との間のキャバを保ちながらやっていこうと思います。もし出ていないようだったら、ぜひ、どんどん言ってください。お願いします。定期的お願いします。